

(様式2)

平成14年度 次世代ITを活用した未来型教育研究開発事業

第3回実施報告書

1 学校名

土岐市立濃南中学校

2 実施内容

○研究課題

プレゼンテーションソフト活用について

○実施時期

第3学期

○実施にあたって

技術科では、「情報」でコンピュータを活用する授業を組んでいる。

そこでは、基礎から始まって、文書入力、画像入力、情報収集、情報モラルに関わることを学習させている。

その中で、画像入力についての実践を報告する。

○実践

単元『パワーポイントを使いこなそう』（技術科・2年）...Microsoft Power Point

本校では、1年生の時に、5時間ほどパワーポイントを使った「マンガ作り」の授業を実施している。そこでは、パワーポイントの中にあるテンプレートを利用して授業を行った。したがって、生徒の実態として、すでにパワーポイントの使い方については理解している。そこで、今回は、このパワーポイントの「スライド画面」の中にもどるようにして画像を入力するのかを授業として組み入れることにした。

取り入れる画像については、次の3つのことを示した。

インターネット上にある画像を入力する

デジカメでとった画像を入力する

自分で描いた画像を入力する

について

まずは、練習として、インターネットの中のニュース画像を取り入れていくことにした。方法は、画像の上で右クリックし、「コピー」を選択し、パワーポイント上の「編集」で「貼り付け」を選択するとその画像を「スライド」に貼り付けることができる。また、その画像を「名前を付けて画像を保存」することもできることを教え、とりあえず、自分のパソコンに画像をストックしておいてあとでどれにするか、検討することもできることを教えた。

このようなやり方で、自分のテーマに沿った画像をインターネット上で探し、パワーポイントのスライド画面に貼り付けていくことを行った。その後、画像についての説明文を入力していった画面を仕上げるのである。

さらに、「図形」を使って、矢印を入れたりするような工夫をさせた。

について

デジタルカメラで撮影した画像は、先生機にコンパクトフラッシュを読み取る機器が見つないであるので、そこで読み取って、生徒機に送信してやることができるソフト（WinBird）で、送られてきた画像をパワーポイントに取り込むのである。

について

ウィンドウズの中にある「ペイント」を使って、自分で絵を描く。その絵をマイドキュメントなどに保存する。そして、パワーポイントにその画像を取り入れることをさせた。生徒によっては、クリップアートにあるテンプレートを利用した上に自分の描いた画像をプラスすることもしていた。

3 成果と課題

- ・「パワーポイント」は、昨年度の技術科授業で取り組んでいるので、どの生徒も操作方法は身についていた。
- ・「パワーポイント」でプレゼンテーションをする際に、画像があることは有効なので、こうした画像入力の方法を身に付け、活用できる画像を共有ホルダ等に保存しておくことが今後生きてくると思われる。
- ・生徒は簡単にインターネットの画像が取り込めたので、満足していた。
- ・自作した絵を何回も貼り付ける（スタンプのような形で）ことで、スライド画面を飾るようなことができることがわかって、きれいなスライドを作成できた生徒もいた。
- ・デジタルカメラで撮影した画像については、意図的に撮影したものではなく、校舎を撮影したりしただけであったので、今後はもう少しどういうプレゼンテーションをするのか、そのためにはどのような画像が必要であるのかを考えさせていくことが必要である。
- ・プレゼンテーション作成にあたって、インターネットに表示してある写真などには著作権があるということは伝えたが、こうした著作権などの情報モラルについては、また違う授業を組む必要がある。

4 今後の方向

- ・こうしたプレゼンテーションソフトを使いこなすことによって、いろんな場面で情報発信ができていくということにつなげていきたい。
例えば、総合的な学習の時間では、地域学習をしているが、その追究課題をまとめるのに「パワーポイント」を使って、大画面でみんなの前で発表ができるようにするということである。
- ・将来、生徒自身でホームページを作る際にも、どういうデザインにするかなどの画面構成を考えたりする場合には、この「パワーポイント」でのプレゼンテーションの授業でつけた力が活用できると思われる。